

寒暑酷し
き所以

乾燥と降
雨

同うするも、氣候は寒暑共に酷烈を極め、溫和の候は甚だ少なし、既に其の位置を同うして、其の氣候を異にすること斯の如き所以のものは、畢竟土地の高度、地質の沙土、風向の西北なる等に原因せずんばあらざるなり。

太陽の地上を照射するや、地は光線の熱を吸収して、直に反射し、空氣を下層より漸次に温むるに因り上層に至るに隨ひ、其反應次第に減少す。高山の頂上は、太陽の近きに拘らず、却て寒冷なる所以のもの、畢竟光線の反射面少なければなり。新疆は頗る高原帶に屬し、平地も尙ほ海拔二千乃至四千尺内外を有すること、恰も我淺間山の半腹と等しき高度なりとす。然れども、海洋と遠隔せる新疆は空氣の乾燥甚だしく、土地又概ね沙漠なるが故に、光線の反射最も強き爲め、夏は暑氣極めて酷烈、冬は西北の風、西伯利の寒帶より來り天山の雪を吹き下し、寒氣殊に激甚に至るは、決して偶然ならざるなり。

此の如く空氣乾燥するが故に、晴天自ら續き、降雨亦少なし。殊に沙漠多き南路の地に在りては、一歲中點滴の聲を聞く、僅に三四回、多きも五六回に過ぎず。數月の間、滿天一碧、一片の雲影だも見ず、遂には終年會て雨なきに至ること稀ならずと